

お茶の水ニューロサイエンス・セミナー 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

演題：神経・精神疾患の病因・病態仮説としての
マルチモーダル GABA

演者：福田 敦夫 先生

浜松医科大学医学部 神経生理学講座 教授

日時：2018年7月3日(火) 18:00 - 20:00

場所：共用講義室2 (東京医科歯科大学 M&D タワー2階)

講演要旨：

[Cl⁻]_iはCl⁻を排出するKCC2と取込むNKCC1により制御され、GABA受容体は[Cl⁻]_iが高い未熟な脳では傍分泌による持続性脱分極で神経細胞の発生や移動に関与する。やがて発達によるKCC2増加で[Cl⁻]_iが下がるとGABAは抑制性神経伝達物質として働くが、[Cl⁻]_i増加すると時として興奮性にもなる。このように、GABAの生理作用や作用機序はダイナミックに変化する極めて多様なものであり、このマルチモーダルGABAへの摂動は、神経疾患の病態や発達障害性の精神疾患の病因にもかかわる。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

お茶の水ニューロサイエンスアソシエーション (ONSA)
担当：脳神経機能外科学分野 前原健寿 Tel: 5803-5266

ONSA 事務局：神経機能形態学分野 内
E-mail: mie.taguchi.nana@tmd.ac.jp Tel: 5803-5149 Fax: 5803-5151